

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

## 東北電化工業株式会社

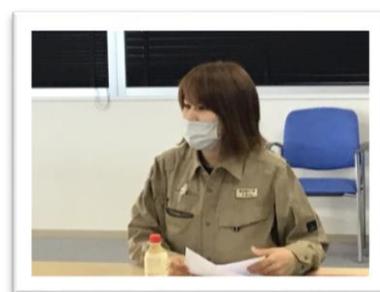
山形市にある東北電化工業株式会社の若手社員、鹿野郁絵さん取材しました！  
鹿野さんは、東海大学体育学部武道学科を卒業した後、2017年に入社しました。  
現在は、山形支店工務部で勤務しています。  
また、総務部の新関絢さんにも同席していただきました。

### (1) 仕事内容編

———現在、どのようなお仕事をしていますか。

(鹿野さん)

私は工務部に所属しており、仕事の内容は新築物件や改修を行うために、お客様や業者さんと現場打合わせを行い、実際の現場で使用する図面の作成を行なっています。そして、その図面をもとに工事部の電気工事士が電気の配線作業などを行います。私自身は1日の中で現場にいるよりも、会社にて、業務を行うことの方が多いです。



———現在のお仕事のやりがいはどこなところですか。

(鹿野さん)

電気という生活する上で欠かせないものに自分自身が携わり、担当した物件に電気が灯る瞬間は、特に「頑張ってたかったな」と感じます。

———鹿野さんは電気とはあまり関わりのない分野から電気工事会社に就職されたと思いますが、その上で苦勞された点がありますか？またその上で、違う分野だったからこそ役に立ったことなどはありますか？

(鹿野さん)

大学で学んだ知識が今の職場で役に立ったことはないです(笑)。役に立ったといえば、大学で培った体力が今の職場で生きているぐらいですか(笑)。また、同期で入社してくる

人には理系出身が多いため、初めは周りに追いついて資格を取得するということに必死でした。そのため、研修期間には理系出身の同期に教えてもらいながら勉強していました。

——入社してすぐの頃はどんなことをしていましたか。

(鹿野さん)

入社してすぐの頃は、電気工事に必要な資格を取得するための勉強から始まりました。資格を取得するためには“職業訓練校”へ3ヶ月間(入社後の4月～6月)通うため、入社後に訓練校へ移動して朝から夕方まで勉強という日々でした。

入社して3か月後、現在所属している工務部に配属となりました。3ヶ月の研修期間後も数回訓練校へ通ったり、先輩が担当している物件の手伝い(現場で使用する材料や施工風景の撮影、写真整理など)をしたりしていました。

——今の仕事に慣れるまではどのくらいかかりましたか。

(鹿野さん)

今でも慣れないことはあります。担当する建物に同じ建物はないため、現場現場によって使う知識や技術が異なり、現場打合せにおいても毎回違う人と接するため、まだまだと感じることが多いです。



(新関さん)

2、3ヶ月で作業を行う人や場所が大きく変わる(短いと1ヶ月、長いと2年同じ現場)というのもこの業界の一つの特徴です。また、各工程、業種の方々と一緒に作業を行うので、多くの人に関わっている仕事だと思います。

## (2) 職場編

——東北電化工業に就職を決めたきっかけは何ですか。

(鹿野さん)

もともと電気に関心があったというわけではないのですが、就職活動中に参加した企業説明会で、“会社の雰囲気良かったから”というのが一番の理由です。“資格がない”というのが就職において不安だったのですが、東北電化工業では入社後の社内教育が整っている印象を受けたため、入社を希望しました。



——入社して良かったところはありますか。

(鹿野さん)

何もわからない状態で入社しても社内教育が整っているため、安心できました。自分とは違う部署の人たちも丁寧に指導してくれて、会社の人みんな優しいところも良いところですね。社員同士では仕事の話もちろんしますが、プライベートな話もよくします。コロナ禍以前は、課の社員同士で飲み会に行ったりもしていました。

当社には OJT 制度があるため、配属直後には新入社員一人に先輩が一人付くといったマンツーマンの形で業務を学ぶことができます。期間としては、3ヶ月の研修を終えた7月～12月までの5ヶ月間になります。初めての現場は「怖い」というイメージが強かったのですが、一対一で最初から最後まで本当に細かく教えてもらえるため、とても助かりました。

——社内教育について詳しく教えてください。

(新関さん)

当社には OJT 制度がります。OJT 制度ではなるべく歳が近い先輩を指導者として選ぶようにしています。新入社員のバックアップや技術面のカバーのために指導者を選ぶことはもちろんですが、新入社員がプライベートのことなども気軽に相談できるように、歳が近い指導者を任命しています。

また資格取得については、当社には資格取得奨励の制度があり、資格取得に要した費用や資格を取得した際にはお祝いとして一時金が支給されます。

(鹿野さん)

現在電気工事施工管理技士の2級を取得しています。これからは1級取得に向けて取り組んでいきます。

——東北電化工業の強みはなんですか。

(新関さん)

大手の電気工事会社では、現場管理のみを行う会社が多い中で、当社では、多くの電気工事士を抱え、受注から完成、そしてアフターケアまで全ての仕事を当社の社員で行っています。また、人員規模も電気工事会社にしては全国的にも珍しく約400名の従業員がおり、プロパー社員のみで受注からアフターサービスまでサービスを提供している点も特徴です。



——従業員の方の男女比率はどうか。

(新関さん)

毎年20名近く採用している中で、男性7～8割、女性1～2割という感じです。女性が活躍するのは現在は事務部門が多いですが技術職の女性も徐々に増えてきました。

——入社以前に理系や専門分野で学んでいたわけではなく、入社してからスキルを身につける社員は比率としてどのくらいいらっしゃるのでしょうか？

(新関さん)

全ての従業員が、入社後にスキルを身につけたという感じです。当社では、高校生や大学生から、学部学科、男女不問で募集しているため、毎年幅広い分野から採用を行っています。会社名だけを見ると、専門的な知識が必要なのではないか…と思われると思うのですが、こちらとしては学生さんが「何もわからない…」という状態で来てもらうのは大歓迎で、少しでも興味があったら是非受験していただきたいと思っています。

### (3) ある日の過ごし方編

#### ●7:45 【出社・朝礼】

ラジオ体操から始まり、朝礼を行います。

#### ●8:00 【業務開始】

図面作成や見積もり、現場で使う材料の発注、現場風景の写真の整理などを行います。

#### ●12:00 【お昼】



#### ●13:00 【午後の業務開始】

午前中の業務の続きや、現場訪問や現場の打ち合わせを行います。夕方頃には、次の日の作業内容を確認したり、現場の進捗具合を現場の方に聞いたりします。



#### ●17:00 【退勤】

## (4) むらやまでの暮らし編

---

——山形市へUターン就職を決めた理由は何でしょうか。

(鹿野さん)

もともと就職の際に「これを絶対にやりたい！」というものがなく、これからについて考える中で、進学を機に離れた“地元の優しさ”を思い出しました。自分の中で「一度離れた山形市の空気感が好きだなあ」と再認識したことで、自分がこれから働いていくのは山形が合っていると思い、就職を地元決めました。



——同期には県外の大学を出た人が多いですか。

(新関さん)

特に鹿野さんの同期は、高校時代までを山形で過ごし、大学で県外に出てUターン就職をするという人が多かったです。

——退勤後や休日は、どんな風に過ごしていますか。

(鹿野さん)

仕事を終わったらまっすぐ自宅へ帰宅し、飼っている犬と遊んだり、休みの日は自宅でのんびり過ごしたり友人と外で遊んだりします。それから、新しい趣味が欲しくて最近カメラを購入しました。今後は風景や食べ物を映す練習をしたいと思っています。

——山形在住と伺いましたが、身近でオススメのスポットやお店などありますか？

(鹿野さん)

最近では山寺へ初めて行ってきました。とても気持ち良かったです(^ ^)。それから、通勤時には馬見ヶ崎のさくらラインを通るのですが、春先の桜が咲いた頃に通るといつも綺麗だなあと思って見えています。

(新関さん)

馬見ヶ崎の桜のライトアップの工事も当社が担当しています。

——山形で暮らしていて良いなと思うことを教えてください。

(鹿野さん)

第一に、会社の方や近所の方といった、自分の身の回りの人が優しいということです。また、今のコロナ禍で過ごす中で、家族が近くにいるということはやっぱり安心するなあと感じました。

ご飯やラーメンが美味しいことや、良い温泉がたくさんあるところが魅力ですね。

## (5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。



(鹿野さん)

国家資格を早い段階から積極的に取得していきたいです。また、仕事では自信がない部分もまだまだあるので、お客様から安心して仕事を任せてもらえるようになるためにも、作業における知識をどんどん増やし、これからも技術をたくさん身につけて頑張りたいです。

——これから就活する学生へ向けて、メッセージをお願いします。

(鹿野さん)

数年前に就職活動を通して感じたことは、自分の想像以上に知らない職種がたくさんあるということです。その対策としては、とにかく様々な分野を調べ、その過程で自分のやりたいこと、興味があることを見つけていければ、スムーズに就職活動できると感じました。また、自分がやりたいと思うことをしている人と関わりを持つことなども、とても重要だと思います。



——最後に、総務部の新関さんにもお伺いします。女性が活躍するために何か会社で心掛けていること、取り組んでいることなどはありますか。

(新関さん)

最近特にワークライフバランスなどが注目されていますが、当社は以前から働きやすさへ向けた取り組みを行っており、福利厚生充実という点で“リフレッシュ休暇”や“誕生日休暇”など各種休暇制度を設けています。また、最近では健康経営も重視しており、ホワイト500（健康経営優良法人認定制度）の取得に向け、全社的に取り組んでいます。

女性の採用拡大という点では、就職のガイダンスの際には女性社員に同伴してもらい、実際の社内の“柔らかい雰囲気”を、学生の皆さんへ伝えるようにしています。また、比較的工務部や工事部より女性が多いとお話しした事務職でも、ただの事務職ではなく、技術事務職という形で募集を出しているため、繰り返しにはなりますが、その資格取得へ向けたバックアップ（訓練校での研修など）には特に力を入れています。

当社の仕事はインフラに携わっており、地域の方々の電気を守っているという点がアピールポイントであるため、“地域貢献したい！”という方や、“山形が好きだ”という方がいれば、ぜひ、というところですかね。



——ありがとうございました！

鹿野さんのお話の中にあつた、「自分が働きたい会社を社の雰囲気から決めた」ということが印象的でした。私は業務内容に興味があれば仕事は続けられないのではないかとばかり考えていたため、東北電化工業さんの特徴であるイチからの社内教育のように、雰囲気から入社して学び、経験していくという点にも視野を広げるきっかけになりました。今回はありがとうございました！

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 佐藤 玲美、藤村 玲菜・大学院社会文化システム研究科 陳 子軒】

## 東北電化工業株式会社

---

【総合電気設備工事業を通して、社会インフラを整備・貢献している企業です！】

年功序列を廃止し、誰もが働きやすい環境づくりを進めています。特に、女性の活躍推進（ポジティブアクション）に取組み、女性を積極的に採用し、「多様性の確保」「多様な人材における新しい価値の創造」による職場環境・従業員意識の向上に努めています！

☆厚生労働省の均等推進企業部門『H23 年都道府県労働局長優良賞』、山形県男女いきいき・子育て応援宣言企業部門『H24 年山形県ワークライフバランス優良企業知事賞』、山形いきいき子育て応援企業『R1 年優秀（ダイヤモンド）企業』など受賞

- ・所在地 山形市青田三丁目 9 番 1 8 号
- ・設立 昭和 22 年 4 月
- ・従業員数 379 名（男性 326 名、女性 53 名）
- ・URL <https://www.tohoku-denka.co.jp>

